









新理論の建設

石田文次郎

現代史家の適性

中島健蔵

學實地の洋東

想隨研究

再發足の課題

坂本久

俗傳よりの飛躍

小池藤五郎

序

小池藤五郎

論評本日

特選 國內異業協会の總力化

道報

臺灣比島沖決戦記

生産工學

機械工作雜誌 向上と検査規格

近世書局

歴史主義の成立(上下)

哲學研究

デカルト哲學研究

高數究研

11月號 454號

佛教學講座

東京帝國大學佛敎部主任

ドイツ語

Deutsch 十一月號

飛行船の操縦

原子的飛行船の操縦

日光書院

東京 丸の内區本町二丁目

新理論の建設 (石田文次郎)
「新理論の建設」とは、単に新しい理論を創出するだけでなく、既存の理論を批判的に検討し、その限界を明らかにし、新たな視座から理論を再構築することである。

現代史家の適性 (中島健蔵)
現代史家は、単に過去の事実を記述するだけでなく、その背後にある社会構造や人間性を洞察し、現代社会に教訓を伝える役割を担っている。

學實地の洋東 (想隨研究)
東洋の学問は、単に西洋の学問を模倣するのではなく、東洋の独自の文化や思想を基盤として、独自の学問体系を構築する必要がある。

再發足の課題 (坂本久)
戦後の日本は、戦前と同じく「再發足の課題」に直面している。これは、単に戦前の体制を復讐するのではなく、新しい社会秩序を築くことである。

俗傳よりの飛躍 (小池藤五郎)
俗傳は、歴史の真実を伝えるだけでなく、民間の信仰や文化を反映する重要な役割を果たしている。飛躍とは、俗傳を単なる逸話として扱うのではなく、学問的に研究することである。

序 (小池藤五郎)
本書は、俗傳の飛躍を論じたものである。序言では、本書の目的と意義を述べ、読者に理解を促している。

論評本日 (特選 國內異業協会の總力化)
国内異業協会の総力化は、戦後の日本経済を復興させるための重要な手段である。本日は、その意義と課題について論評している。

道報 (臺灣比島沖決戦記)
臺灣比島沖決戦記は、第二次世界大戦中の重要な戦役である。道報では、その経過と結果について詳しく報告している。

生産工學 (機械工作雜誌 向上と検査規格)
生産工學は、工業生産の効率化と品質向上を目指す学問である。機械工作雜誌では、検査規格の向上について論じている。

近世書局 (歴史主義の成立(上下))
歴史主義の成立は、近代史学における重要なテーマである。近世書局では、その成立過程について詳しく解説している。

哲學研究 (デカルト哲學研究)
デカルトの哲学研究は、近代哲学の基礎を築いた重要な思想家である。哲學研究では、その思想について詳しく論じている。

高數究研 (11月號 454號)
高數究研は、数学研究の分野で重要な役割を果たしている。11月号では、最新の研究成果について報告している。

佛教學講座 (東京帝國大學佛敎部主任)
佛敎の研究は、東洋文化を理解するための重要な鍵である。佛敎部主任による講座では、佛敎の歴史と思想について詳しく解説している。

ドイツ語 (Deutsch 十一月號)
ドイツ語の学習は、国際交流やビジネスにおいて重要なスキルである。Deutsch 雑誌では、ドイツ語の学習法について詳しく紹介している。

飛行船の操縦 (原子的飛行船の操縦)
飛行船の操縦は、航空技術の発展に重要な役割を果たしている。原子的飛行船の操縦法について詳しく解説している。

日光書院 (東京 丸の内區本町二丁目)
日光書院は、学問や文化の発展に貢献している出版社である。東京丸の内區本町二丁目に本社を設けている。